

小児神経学の進歩

第8集

日本小児神経学会卒後教育委員会・編

株式会社

診断と治療社

= 目 次 =

神経系の形態発達.....	中 村 和 成	1
I ニューロンの正常発達.....		1
II グリア（神経膠細胞）.....		2
III ヘテロトピーおよびエクトピー.....		4
IV 神経線維の有髓化.....		6
 小児神経学的診療法——症候論——.....	半 田 照 彦	8
I tonus musculaire (筋緊張)		8
II paralysie (麻痺)		9
III tremblement intentionnel (企図振戦)		9
IV dysmétrie (ジスマトリ, 距離の誤認)		9
V mouvement involontaire (不随意運動)		9
VI hémiplégie (片麻痺)		9
VII astéréognosie (アステレオグノジー, 立体覚の消失)		9
VIII syncinésie (サンシンエジー, 同時運動, あるいは協調運動とでも訳されるべきか)		10
IX asynergie (アシネルジー, 筋の協調障害とでもいうのだろうか)		10
X signe de Romberg (ロムベルグ徵候)		10
XI marionnette (マリオネット, adiadiocinésie)		10
XII signes pyramidaux (錐体路徵候, spasticité)		10
XIII signes extrapyramidaux (錐体外路徵候, rigidité)		11
XIV réflexes ostéo-tendineux et réflexes idio-musculaires (腱反射と筋原反射)		12
XV troubles de la motricité (運動障害)		12
 運動障害の鑑別診断.....	竹 下 研 三	14
I 動きについて		14
II 動きの考え方たと表現		15
III 姿勢の考え方たとみかたと異常姿勢について		15
IV 反射 reflex, 反応 reaction		20
V 歩 行		21
 脳性麻痺の早期診断.....	児 玉 和 夫	23
I 脳性麻痺の定義について		23
II 脳性麻痺の分類		25
III 診 断		25
IV 症例検討		32

脳の生理学的発達	渡辺一功	38
I 脳波の発達による変化		38
II 睡眠の発達による変化		44
III 大脳誘発電位		47
 小児てんかんの診断	黒川徹	51
I てんかんの定義		51
II てんかんの診断のすすめ方		51
III 発作型		52
IV 発病年齢および発作頻度		55
V 発作以外の精神身体症状		55
VI てんかんにおける神經生理学		57
VII 原因		57
VIII 診断のまとめ		58
 てんかんの治療	児玉莊一	61
I てんかんの基礎疾患と小児てんかんの特長		61
II 主な抗てんかん剤の種類とその適応		63
III 小児難治性てんかんに対する治療		67
IV てんかん治療の要約		71
 REYE SYNDROME	WILLIAM K. SCHUBERT	73
 Clinico-electroencephalographic Conference (CEC)		
昏迷状態と急性失調をきたした小児	〔司会〕北原久枝 〔症例・脳波担当〕岡 錠次	101
 神経症候学	平山恵造	122
I 小脳性運動失調		122
II 後索型運動失調		126
 脳神経の症候	吉倉範光	129
I 外側延髓症候群 Lateral medullary syndrome		129
II 延髓半側症候群 Dejerine の syndrome		130